

【事業名】	多様な人材が活躍できる「働きやすいまち・ふなばし」の実現					
【担当部課】	経済部 商工振興課					
【船橋市まち・ひと・しごと総合戦略における基本目標】						
基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】						
【事業の目的・概要】（事業の具体的な内容は別紙のとおり）						
今後少子高齢化の進展による労働力不足の課題解決のために、女性や高齢者、障害者等の潜在力を活かせるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を始めとして、多様な人材が「働きやすいまち・ふなばし」の実現を目指し、先駆者企業の事例発表を取り入れた経営者向け意識改革セミナー、また女性やテレワーカーの人材活用やSNS活用等の多様な人材採用支援セミナーを実施し、さらにこれまでの事業の取組み成果としてワーク・ライフ・バランス推進企業事例集を作成した。						
【事業実績額】	1,452,860円		【交付額】	726,430円		
【本事業における重要業績評価指標（KPI）】						
指標名		事業開始前	1年目 H29	2年目 H30	3年目 R1	累計
ワーク・ライフ・バランスに関する各種公的認定等を受けた市内企業数（社）	KPI	58	3	5	18	84
	実績		9	11	32	110
ワーク・ライフ・バランス改善実践セミナーに参加した市内企業数（社）	KPI	0	30	50	70	150
	実績		94	77	51	222
【事業効果の判定】						
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった						
【効果】（目標達成の要因となったこと）						
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は近隣市（市川市・習志野市・八千代市）からも後援をいただき幅広い周知にご協力いただいた。また市中小企業融資制度利用事業者等（約1,600社）にも周知をした。 各セミナー内で各種認定制度等のチラシの配布を行い、また、各セミナーの講師からも認定制度等が求職者に対する企業のPRとして有効である旨を積極的に企業に伝えた。 本事業を3年間継続してきて、徐々に市内企業にワーク・ライフ・バランスが浸透してきたことにより、令和元年度は32社が認定等を受け目標を達成することができた。 セミナー参加者へのアンケート結果では、講師への評価は高く、講演内容についても「よく理解できた」「ある程度理解できた」が全体の約98%であり、事業者のワーク・ライフ・バランスの推進を後押ししてきたと考えられる。 						
【要因・課題】（目標の達成等を阻害する要因及び状況への変化・目標達成に必要なこと）						
<ul style="list-style-type: none"> セミナー参加者数は当日キャンセル等が重なり、申込みに対して1/2程度の参加となる回もあった。単年度としては目標70社に対して51社の実績となり目標達成はできなかったものの、欠席された方に対しては動画配信を案内しフォローした。 						
【改善策・取組方針】（要因・課題を踏まえた具体的な取組み）						
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は動画配信によるセミナー受講はまだ一般的ではなかったが、今後コロナ禍においてオンライン講座等により会場に行かずにセミナーを受講することが一般的になり、業務多忙の事業者であってもセミナー受講が容易になることが予想される。 これまでのワーク・ライフ・バランス推進事業の中でも、コロナ禍において活用が注目されるテレワーク等の啓発を図っていく。 						

事業の内容**【事業主体】** 船橋市**【受託者】** 一般社団法人クオリティ・オブ・ライフ創造支援研究所**【実施したセミナー】**

1. 経営者向け意識啓発セミナー		
「“経営者”のための働き方推進改革セミナー 働き方改革の“成功方程式”」2回開催		
日時	(1回目) 令和元年7月12日(金) 14:00~16:30 (2回目) 令和元年10月8日(火) 14:00~16:30	
場所	(1回目) 船橋市役所 中央公民館 第3・4集会室 (2回目) 船橋市民文化創造館(きららホール)	
参加者数	(1回目) 35名(30社)〈市内事業者参加数20名(18社)〉 (2回目) 41名(34社)〈市内事業者参加数31名(25社)〉	
プログラム	(第1部:基調講演)「働き方改革における従業員のマネジメント、とは」 (一社)クオリティ・オブ・ライフ創造支援研究所 理事長 森田 司 (第2部:働き方改革 先進企業のご紹介) 【ファシリテーター】 (一社)クオリティ・オブ・ライフ創造支援研究所 理事長 森田 司 ①株式会社URO電子工業、②社会福祉法人悠久会、③公益社団法人船橋市清美公社	
2. 多様な人材採用支援セミナーの開催		
「多様な人材採用支援セミナー」 2回×1セット		
日時	(1回目) 令和元年8月23日(金) 14:00~16:30 (2回目) 令和元年9月4日(水) 14:00~16:30	
場所	(各回とも) 船橋市役所7階 705会議室	
参加者数	(1回目) 15名(14社)〈市内事業者参加数10名(10社)〉 (2回目) 11名(11社)〈市内事業者参加数7名(7社)〉	
プログラム	1回目	(講演1) 「頑張り屋さんの女性を活用して働き方改革とワーク・ライフ・バランスを推進する」 株式会社ルバート 代表取締役 谷平 優美
		(講演2)「テレワーカーを活用して働き方改革とワーク・ライフ・バランスを推進する」 株式会社ライフネス 代表取締役社長 城戸 康之
	2回目	(講演1)「派遣スタッフを活用して働き方改革とワーク・ライフ・バランスを推進する」 株式会社日本教育クリエイト クリエイトスタッフ船橋支社 支社長 大岩 正人
		(講演2)「SNSを活用して多様な人材を獲得する」 (一社)クオリティ・オブ・ライフ創造支援研究所 理事長 森田 司
3. ワーク・ライフ・バランス推進企業事例集		
内容	主に、過去2カ年(平成29~30年度)にセミナーに参加した企業等へ、アンケート調査を実施し、ワーク・ライフ・バランス改善の成果が出ている企業(5社)を選定。	
部数・仕様	500部(冊子・A4サイズ・16ページ(5社×見開き2ページ))	
掲載企業	①URO電子工業株式会社、②株式会社SAJI、③社会福祉法人千葉県福祉援護会、 ④生活協同組合パルシステム千葉、⑤株式会社ジェイコム千葉 船橋習志野局	
配布先	データを市HPに掲載。冊子は市内企業、大学、高校、公共施設等に配布。 ⇒市内企業への事業の横展開を図るとともに、求職者に対しても市内の優良企業のPRを図る。	

令和元年度市内参加企業

51社 (目標数70社)

【ワーク・ライフ・バランスに関する各種公的認定等を受けた市内企業数】

認定制度名	市内企業数
【千葉県】社員いきいき！元気な会社宣言（ワーク・ライフ・バランス推進）	7社
【千葉労働局】ちば働き方改革共同宣言賛同企業（働き方改革推進）	15社
【厚生労働省】ユースエール認定	1社
【厚生労働省】くるみん認定	1社
【経済産業省】健康経営優良法人2020（中小企業法人部門）	8社

いきいき宣言：①SBIエステートファイナンス株式会社船橋支店 ②株式会社ジーアフター
③東都金属印刷株式会社 ④URO電子工業株式会社 ⑤長印船橋青果株式会社
⑥株式会社ランデックス ⑦株式会社中央機材

共同宣言：①株式会社オフィス・イシイ ②メディカル・サービス・ケア株式会社 ③株式会社榊原
④有限会社イセ化工 ⑤株式会社新栄 ⑥株式会社ランデックス ⑦不二公業株式会社
⑧一般社団法人船橋労働基準協会 ⑨京葉都市開発株式会社 ⑩朝日管工株式会社
⑪三信配管設備株式会社 ⑫かもめガス株式会社 ⑬社会福祉法人康和会
⑭日本企画株式会社 ⑮株式会社ケイハイ

ユースエール認定：①日本ペイント防食コーティングス株式会社

くるみん認定：①社会福祉法人康和会

健康経営優良法人：①URO電子工業株式会社 ②株式会社お客様相談室 ③多田機工株式会社
④有限会社クリエイトジャパン ⑤株式会社斉藤総業 ⑥株式会社クロスファクトリー
⑦株式会社デイリートランスポート ⑧株式会社リフレクト

令和元年度市内認定企業

32社 (目標数18社)

ワーク・ライフ・バランス推進企業事例集

